

大阪医科大学研究の利益相反に関する指針施行細則

大阪医科大学

第1条 開示すべき事項の基準

各々の開示すべき事項について、自己申告が必要な事項及び金額を次のように定める。

- ① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職については、一つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上の場合は申告する。
- ② 株の保有については、一つの企業についての1年間の株による利益（配当、売却益の総和）が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合は申告する。
- ③ 企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料については、一つの特許権使用料が年間100万円以上の場合は申告する。
- ④ 企業や営利を目的とした団体から、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）については、一つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上の場合は申告する。
- ⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料については、一つの企業・団体からの年間の原稿料が合計50万円以上の場合は申告する。
- ⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費については、一つの臨床研究に対して支払われた総額が年間200万円以上の場合は申告する。奨学寄付金（奨励寄付金）については、一つの企業・団体から、1名の研究代表者に支払われた総額が年間200万円以上の場合は申告する。
- ⑦ その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）については、一つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上の場合は申告する。

第2条（学内学会・研究会等での研究発表）

（開示の範囲）

1. 本学で従事する教職員が本学学内学会や研究会等において、筆頭演者として開示する義務のある利益相反状態は、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わるものに限定する。

（発表時）

2. 発表時に明らかにする利益相反状態については、「大阪医科大学研究の利益相反に関する指針」（以下、「指針」という）の「5. 開示・公開すべき事項」で定められたものを、発表スライド、あるいはポスターの最後に、「利益相反自己申告書」（様式1）に従って開示する。また、開示が必要なものは抄録提出1年前から発表時までのものとする。

第3条（本学雑誌等での研究発表）

（開示の範囲）

1. 著者が開示する義務のある利益相反状態は、投稿内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わるものに限定する。

（投稿時）

2. 本学の大阪医科大学雑誌で発表を行う著者は、投稿時に様式2により、利益相反状態を明らかにしなければならない。この情報は論文末尾に印刷される。また、規定された利益相反状態がない場合は、同部分に、「The authors indicated no potential conflict of interest.」などの文言を入れる。

投稿時に明らかにする利益相反状態については、指針「5. 開示・公開すべき事項」で定められたものを自己申告し、各々の開示すべき事項について、自己申告が必要な金額は本細則第1条で規定された金額と同一とする。また、開示が必要なものは論文投稿1年前から投稿時までのものとする。

なお、大阪医科大学雑誌以外の学内刊行物（Bulletin of The Osaka Medical College 等）での発表も、これに準じた書式で自己申告書式を提出する。

※ 平成21年4月1日施行

(様式 1)

利益相反自己申告書

所属：_____ 氏名：_____

	金額	該当の状況	該当の有る場合、企業名等
役職 顧問職	100 万円以上	有 ・ 無	
株	利益 100 万円以上 または 全株式の 5%	有 ・ 無	
特許使用料	100 万円以上	有 ・ 無	
講演料など	50 万円以上	有 ・ 無	
原稿料など	50 万円以上	有 ・ 無	
研究費	200 万円以上	有 ・ 無	
その他報酬	5 万円以上	有 ・ 無	

Conflict of Interest Disclosure Statement

Manuscript No. _____

Manuscript Title: _____

Each author is required to complete and return this form to the corresponding author.

When submitting a manuscript, all authors are required to disclose any financial relationship with a biotechnology manufacturer, a pharmaceutical company, or other commercial entity that has an interest in the subject matter or materials discussed in the manuscript. The matters requiring disclosure are outlined in The Journal of Osaka Medical College Conflict of Interest Policy (5. Matters Requiring Disclosure).

When your manuscript will be accepted for publication, all of the disclosures will appear in your article as "Conflict of Interest Statement" as follows.

Conflict of Interest Statement

A (author name) serves as a consultant to Z (entity name); B's spouse is chairman of Y; C received a research grant from X; D received lecture fees from V; E holds a patent on U; F has been reimbursed by T for attending several conferences; G received honoraria for writing promotional material for S; H has no conflict of interest.

If you, your spouse, or other immediate family member, has any of the listed relationships with a commercial entity that has an interest in the subject matter in your manuscript, please refer it to the Osaka Medical College's definition for conflict of interest which must be disclosed. And then, check the appropriate "Yes" box below and provide details. If the listed relationship does not apply to you or your family member, check the appropriate "No" box.

Categories	No	Yes (Give names of authors and entities)
1. Employment/Leadership position/ Advisory role		
2. Stock ownership		
3. Patent royalties/licensing fees		
4. Honoraria (e.g. lecture fees)		
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee)		
6. Research funding		
7. Others (e.g. trips, travel, or gifts)		

Print name: _____

Signature: _____

Date: _____

All of the forms from each author need to be uploaded online and submitted with the manuscript at the time of submission by the corresponding author.